

火山情報アドバイザー会議の運営について

会議の目的と役割(火山情報アドバイザー会議開催要領より)

火山情報等の内容及び運用等の高度化を推進し、噴火災害を軽減することを目的として、

科学的知見に基づいて、火山活動について検討を行い、火山情報等の質の向上に資する助言を行うとともに、

臨時的に開催

事後の検証等を実施して火山情報等の発表に関する業務の改善に資する助言を行うこと

原則年1回定例的に開催

臨時的に開催するアドバイザー会議

会議開催の基準

- ・火山活動が噴火シナリオと異なる推移をたどる場合
- ・静穏期の長かった火山で規模の小さな噴火や顕著な火山活動の活発化が発生した場合
- ・火山監視・警報センター所長が必要と判断した場合

会議の形式

- ・地域の気象官署（火山センター）ごとに開催（全国担当委員、地域担当委員）
- ・地域の気象庁参与も参加
- ・進行は火山センター所長
- ・気象官署における対面とオンラインの併用

検討内容と委員に求める助言等

- ・火山活動の状況、今後の活動の推移の検討
- ・今後のレベル引上げ、引下げ等にかかる助言
- ・実施すべき機動観測などにかかる助言
- ・火山活動評価のとりまとめ等を行わない

報道発表

- ・会議開催後、会議資料は当日中、会議概要は速やかに気象庁HPで公表、必要に応じて本庁での共同取材

定例的に開催するアドバイザー会議

会議形式

- ・ 全国担当の委員、全ての地域担当の委員が参加
- ・ 全ての気象庁参与も参加
- ・ 進行は火山活動評価解析官
- ・ 本庁における対面とオンラインの併用

検討内容と委員に求める助言等

- ・ 発表した火山情報等の妥当性、発表タイミングに関する助言
- ・ レベル判定基準等の見直し等に関する助言

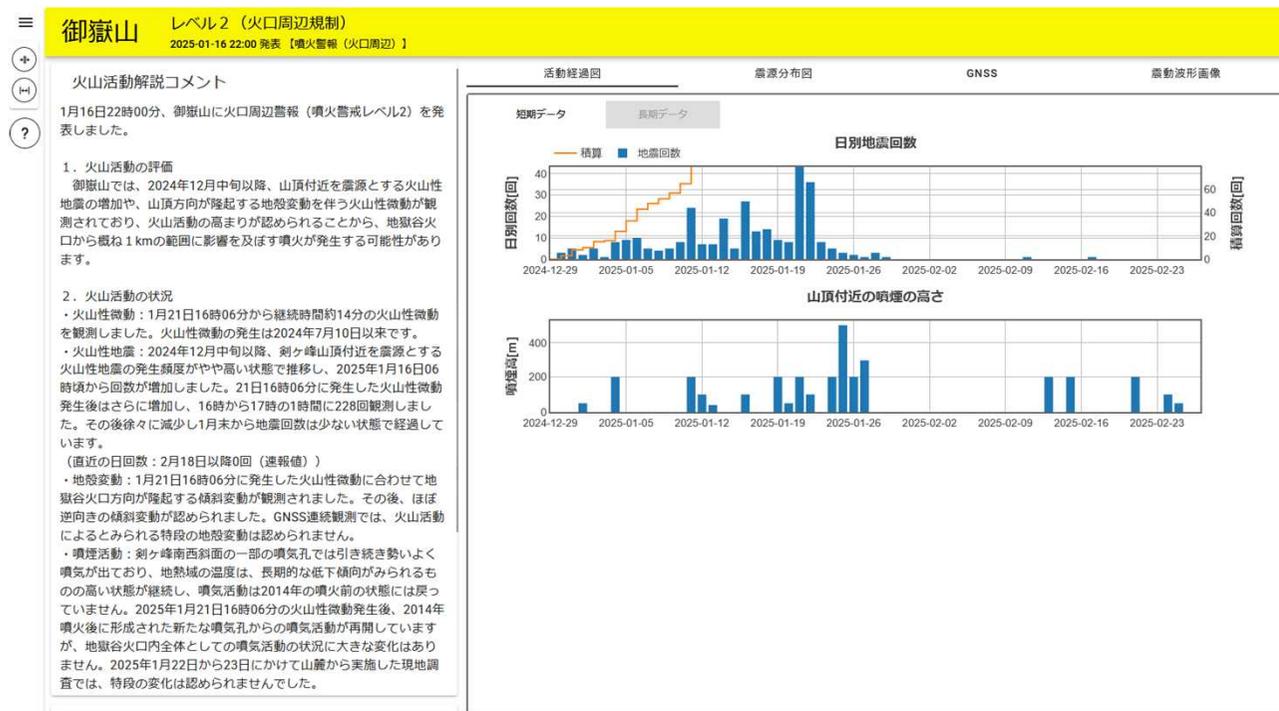
報道発表

- ・ 会議開催後、会議資料は当日中、会議概要は速やかに気象庁HPで公表

平時における情報共有について

(噴火災害応急支援サイト例)

○噴火災害応急支援サイト
火山活動解説コメントでは、活動状況を随時更新しています
地震回数、震源、GNSS、波形などの各種データも確認できます。



○定例の解説資料公表

毎月の火山活動解説資料公表日にその月に解説情報を発表した火山を対象に、概況をお知らせしています。